に触れる

東近江ゆかりの

の自然を描き続けた日本 人の作品を展示する中 日常に根 ふるさと

同館のマスコッ

八記念館の開館5周年にあたり

家や一部

要不可欠なものです 愛好家だけのものではありませ 豊かな生活を送っていく上で必 地域ゆかりの芸術家

近江商人博物館・中路融人記念館

豊かで質の高い暮らしを

東近江の新たな魅力

近江商人博物館の てんちゃんです。 今回はボクが野口先生と 中路先生の作品を









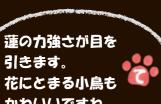








紹介します。







「石塔風景」

なまなざしが感じられます。

自宅の近くにある石塔の集落を描

いています。ふるさとの風景や人々

を愛した洋画家・野口謙蔵の温か

ふるさとの温かみが

感じられます。

制作年不詳 個人蔵



「雪後風景」

制作年不詳 個人蔵

冬の青空の目が覚めるような色が 半世紀たった今でも色褪せずに 残っています。洋画家・野口謙蔵は、 外国製の絵の具を使っていて、画 材にはこだわりがあったようです。

> 青空と雪に身が 引き締まります。 でもどこか温かいです。



の ぐちけんぞう 野口謙蔵

洋画家。1901年、蒲生郡桜川村(現在の東近江市 綺田町) 生まれ。ふるさとの風景を好んで描き、 洋画に日本画の様式をいかしながら、独自の作品 を次々と発表。帝国美術院展覧会で入選3回、特 選3回を受賞。滋賀県を代表する洋画家として活 躍するも、1944年に43歳の若さで亡くなる。代表 作の一つである「霜の朝」は、国が購入し、現在 は東京国立近代美術館に所蔵されている。

「蓮」

1937年 源通寺蔵

引きます。

帝展に入選した大作である本作は、 蓮という画題から自宅近くにある源

通寺に寄進されました。静かな画 面の中にも、右下から真っすぐ伸び

る蓮に迫力が感じられます。

かわいいですね。



「伊吹山」

1990年 東京オペラシティアート ギャラリー蔵

「雪の伊吹の美しさは富士山にも負け ない」と、好んで描いた伊吹山。毎 年正月には伊吹山へ向かい、"描き 初め"をしました。これは四曲一双 の屏風で、山頂から麓までを捉えた 大パノラマが湖北の自然の雄大さを 伝えています。

雄大な山容が 目の前に広がります。











「映象」

1996年 日本藝術院蔵

冷たい空気の中にも温かさを感じるのが日本画家・ 中路融人の作品の特徴です。雪解け水が流れ込み、 水かさが増した琵琶湖に夕日が反射して水面から 伸びる木々を幻想的に照らしています。

> すべてがオレンジ色に 染まって美しいですね。



.

ほかにも魅力的な作品を多数展示します。 ぜひ無料観覧券をご利用ください。 近江商人博物館・中路融人記念館で 皆さんのご来館をお待ちしています。

西堀榮三郎記念探検の殿堂



五個荘竜田町136 0748-48-4141 【開館時間】 9:30~17:00 (入館16:00まで)

「書の文化にふれる博物館」として、中国近現代 書画や国内外の書画、和本類などを多数収蔵。 9月18日(土)から秋季特別企画展を開催します。 詳しくは、14ページをご覧ください。

観峰館



【住所】 横溝町419 【IP電話】 050-5802-2291 【開館時間】 10:00~18:00 (入館17:30まで) 【休館日】 月·火曜日、祝日

西堀榮三郎の偉業をはじめ、近代日本人探検家 を顕彰する施設。日本画や洋画、彫刻などさま ざまな作品を展示する企画展を9月11日(土)から12 月19日(日)まで開催します。



「湖東」

1987年 中路融人記念館蔵

県内各地を取材し、写生をした日本画家・ 中路融人。その中には身近な場所を描い たものもあります。何気ない日常の中に ある風景に美しさを見出しました。

東近江市の近くで見える風景です。 どこかわかりますか?



中路融人

日本画家。1933年、京都市生まれ。母のふるさと である湖国の原風景に心惹かれ、60余年もの間そ の風景を追い求める。写生を大切にし、その作品 には、一期一会の自然の表情が豊かに表現されて いる。日展を中心に活動し、1962年、1975年に特 選を受賞。2012年に文化功労者に選ばれる。2015 年には東近江市名誉市民の称号を受ける。2017年、 83歳で逝去。



